



# ふるかわ内科 クリニック通信

2012年  
冬号  
第9号



## 院長より

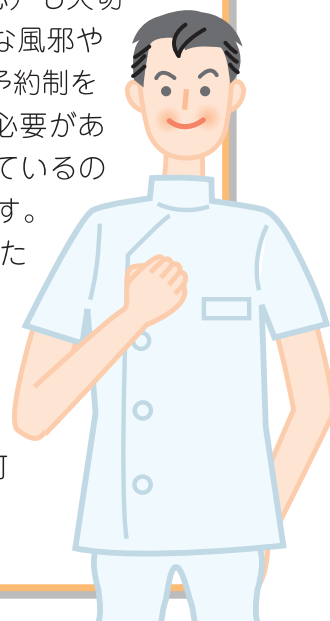
おかげさまで昨年10月に開院3周年を迎え、4年目に突入しました。地域の皆様に支えられやっとスタートラインに立てたと思っています。また、地域の方に多少なりとも必要とされていると感じる瞬間もあり、責任の大きさを痛感していると同時になんてやりがいのある仕事だろうと改めて感じるこの頃です。

開院当初は患者さんの数も少なく、午後の診察は看護師不在で採血もすべて自分で行っていたのが懐かしく思います。また、当初は、「待たなくてもよいすいている医院だと聞いたので来ました！」なんてにこやかにおっしゃる患者さんもいらっしゃり、複雑な気持ちになったこともありました。最近はそのようなこともなくなってきました。

しかし患者さんが増えていると喜んでばかりはおられません。過度に増えることは（杞憂かもしれませんが）診療の質の低下や、待ち時間の増加につながるからです。今シーズンのインフルエンザワクチン接種時期である11月、12月は待ち時間も少し長くなりご迷惑をおかけし申し訳なく思っております。当院は周囲の医療機関と比べてもインフルエンザワクチンの価格が安くなっているため、普段受診されていない方が比較的遠方からワクチン接種だけに来られるというケースが目立ちました。これによって定期通院されている方の待ち時間が長くなるという面がありましたので次回のシーズンからは必ず改善対策して臨みたいと考えています。（価格を見直す、ワクチン専用の時間帯を設けるなど）

皆さんは待ち時間対策としての予約制についてどう思われますか？糖尿病や高血圧といった慢性疾患で定期通院される患者さんの待ち時間を短くするには予約制は有効な面があると思います。しかし、内科開業医としてプライマリケア（さまざまな病気の初期対応）も大切にすると開院当初より宣言している私としては、予約患者さんを常に優先して急な風邪や腹痛の人は後回し、と割り切ることができない気持ちです。そして私が現時点で予約制をためらう最大の理由はたとえ予約制にしても、急性疾患の患者さんにも対応する必要があるため、予約時間どおりにきっちり診ることはできないということです。予約しているのにその時間どおりにいかないというのはかえってストレスを生む気がするのです。はっきり申し上げて私も待たされるのは嫌いです。しかし、予約をしたうえで待たされるのはもっと嫌だと思ってしまうのですがいかがでしょうか？

現状の当院の待ち時間は周囲の医療機関と比べても特に長いというわけではないようですので今しばらくは現在の予約制でないフリーアクセス制でいこうと思います。混み合う時間帯を情報提供するなどして少しでも混雑を緩和する工夫は行っていきます。なお、胃カメラ、エコー、特定健診を含む健康診断などは予約可能となっております。



内科、糖尿病・消化器内科

## ふるかわ内科クリニック

糖尿病学会専門医・指導医 消化器病学会専門医 総合内科専門医

大阪府八尾市跡部北の町3-1-26 久宝寺クリニックビル1F

☎072-943-3307 FAX072-943-3308

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9時～午後12時30分	○	○	△	○	○	○
午後4時～午後7時	○	○	△	○	○	△

休診：水曜日・日曜日・祝日・土曜日午後  
経鼻内視鏡あります

ホームページ [ふるかわ内科クリニック](#) [検索](#)

**連絡事項**

**肺炎球菌ワクチンは予約の上、接種可能です。  
自費7000円です。**

肺炎を予防するワクチンで約5年間効果があります。65歳以上の方や、糖尿病の方、心臓や肺疾患の方に接種が奨められています。

**インフルエンザにご注意を！**

2011年内はこのエリアでの流行は見られておりませんでした。2012年明けてから流行の兆しが出てきています。

**インフルエンザの特徴**

- 伝染性が非常に強く、あっという間に人から人へうつり、広い範囲で流行すること  
 具体例：学級閉鎖
- 症状が激しく重症化しやすいこと  
 具体例：普段のかぜでは仕事を休まない人も、インフルエンザでは欠勤する
- 肺炎や脳症などの合併症や持病の悪化を引き起こして、重症化することもある  
 具体例：インフルエンザの流行時期に一致して日本全体の死亡率が高くなる

これらの事項などから、インフルエンザは慎重な予防対策と発生後の対応が必要で、普通のかぜとは区別すべき病気です。



	インフルエンザ	かぜ
発病	急激	比較的ゆっくり
症状の部位	強い倦怠感など全身的	喉や鼻など局所的
悪寒	強い	軽い
発熱	高い、しばしば39~40℃	ないか、あっても37℃台
からだの痛み	強い	なし
重病感	あり	なし
鼻・咽頭炎	全身症状に継続して起こる	先行して起こり、特徴的にみられる

これらは典型的な症状とされるものですが、インフルエンザウイルスに感染していてもこれらの症状がすべて現れるわけではありません。最近、インフルエンザウイルスの有無を簡単に判定する検査がありますので、短時間でインフルエンザウイルスに感染しているかどうか診断しやすくなりました。

一般に、重症化しない限りは、症状は約1週間でおさまりますが、高齢者などでは肺炎等の合併症を起こしやすいため注意が必要です。